

令和6年度自死対策研修会 「若年層のころをまもる」

自死対策委員会主催

新型コロナウイルス感染症も5類となって1年以上が過ぎ、私たちの日常は以前の環境に戻りつつあります。その一方で、2019年まで減少し続けていた日本における自殺者数は増加したまま高止まりが続いており、特にコロナ禍の影響を受けてきた小中高生の自殺者数は、2022年に過去最高となったことは社会的にも問題となっています。今年の研修会は、当協会理事の遊間千秋氏に講師をお願いし、広く自死予防という視点に立って、若い人や子どもたちのころに向き合うときの態度や姿勢について、また自殺や自傷の心配のあるケースに出会ったときの具体的な対応の方法としてクライシスプランを盛り込んだ講義をしていただくことになりました。スクールカウンセラーや学生相談等、若い世代の方の心理支援に関わっている会員はもちろんのこと、どの領域の方も対象です。みなさまのご参加をお待ちしています。

講師： 遊間 千秋氏（駿河台大学 当協会理事）

日時： 令和6年9月8日（日） 9：30～12：10（受付開始9：00）

※研修時間は実質 2.5 時間です

会場： Zoom を利用したオンライン形式

対象： 当協会会員（準会員、通信会員を含む）

定員： 50 名

参加費： 1,000 円

申込締切： 8月19日（月）

申込方法： 下記 URL よりお申込みください。（右の二次元コードもご利用できます）
こちらをクリック↓



<https://ws.formzu.net/dist/S16692550/>

* 参加費は、申込フォーム送信後の自動返信メールにて案内される方法でお振り込みください。

* 申し込みを完了された方には、登録いただいたメールアドレスへ、9月3日（火）に参加のご案内と参加用URL・パスワードをお送り致します。

* 一度納入された参加費はご返金できません。ご了承ください。

時間	内容
9：30	開会
9：35～12：05	講義：自死予防「若年層のころをまもる」 質疑／グループディスカッション
12：05～12：10	事務連絡／アンケート記入／閉会

臨床心理士更新ポイント：本研修会は、令和7年2月2日（日）実施予定の被害者支援委員会主催研修会（オンライン 2.5 時間）と併せ「自死対策・被害者支援研修会」として（公財）日本臨床心理士資格認定協会の定める「臨床心理学に関するワークショップ」として申請し、両方の研修会に参加した方には、いわゆる「第4群」2ポイントが付与される予定です。（いずれか一つのみ参加することもできますが、その場合はポイント付与は行われませんのでご注意ください）

日本公認心理師協会専門認定：本研修会は、（公社）日本公認心理師協会が定める同協会会員を対象とした専門認定制度のテーマ別研修の「分野共通2単位」として登録申請します。